



教育学部

定員 235 名

学校教育教員養成課程（仮称）

【系】国語 / 社会科 / 算数・数学 / 理科 / 保健体育 / 英語 / 心理・表現

【コース】

- 地域課題探究コース
- 教育臨床コース
- グローバル探究コース
- インクルーシブ教育コース
- STEAM 教育コース



探究力を備えた“学びを創る”人材を育成

「教育×未来志向×地域」のキーワードのもと、「福島ならではの教育」を実現できる教員を目指します。専門的かつ学際的・探究的な学びを深め、社会・地域に学び、未来を創造する人を育てる教員を養成します。

身につける能力

- 各教科の学びや教職に関する専門性と実践力
- 時代に相応しい学びのリーダーとして、学校教育や生徒指導に関わる力
- 未来志向の探究的な学びの実現に向けて学び続ける力
- 協働を通してさまざまな課題の解決をはかり、学校教育を支える力

学類長メッセージ

“クロス型の学び”によって 福島ならではの教員に

教育学部は、「教育×未来志向×地域」をキーワードに、社会や地域の課題から学び、未来をつくる人を育てます。子どもたちとともに成長し、学校を支える先生に。地域に根ざし、新しい教育を生み出す先生に——そんな姿を目指します。

学びの仕組みは「7つの系」と「5つのコース」でできています。国語、社会科、算数・数学、理科、保健体育、英語、心理・表現の7つの系で専門を深め、地域課題探究、グローバル探究、STEAM教育、教育臨床、インクルーシブ教育の5つのコースで、分野を超えて探究に挑みます。この“クロス型の学び”によって、理論と実践を往復しながら、「福島ならではの教育」を築いていきます。

私たちは、こんな人を歓迎します。

- ・教育の今と未来を自分の手で変えてみたい人
- ・仲間と力を合わせて課題に挑みたい人
- ・先生として、人として成長し続けたい人

教育の力で、地域を、福島を、そして日本の未来を支えたい——そんな思いをもつあなたを、私たちは心から歓迎します。



人間発達文化学類長 牧田 実 教授

教育学部の 特色

各教科の学びを深める

系の学び

教育学部は7つの系と5つのコースをクロスさせたカリキュラムになっています。入学時に国語系、社会科系、算数・数学系、理科系、保健体育系、英語系、心理・表現系の7つの系のいずれかに所属します。小学校教員免許は、どの系でも取得することができます。心理・表現系以外の6つの系では、各教科の中学校の教員免許も取得することができます。また、必要な単位を積み増すことで、高等学校の教員免許（国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、保健体育）を取得することができます。



分野横断的な探究を深める

コースの学び

コースは地域課題探究、グローバル探究、STEAM教育、教育臨床、インクルーシブ教育の5つがあり、1年次後期にいずれかのコースを選択します。コースは分野横断的な現代的教育課題に対応しています。課題についての理解を深め、探究的な学びを行います。1年次後期の「探究入門」で準備を進めたのち、2年次の「探究プロジェクトⅠ・Ⅱ」を通して、プロジェクト型の学びを主体的・協働的に進めます。3～4年次の卒業研究では探究を深める〈探究型〉と、専門性を深める〈専門型〉を選択できます。



さらに専門性を高める

チャレンジプログラム

意欲のある学生が登録できるチャレンジプログラム（ChP）を用意しています。特別支援教育、公認心理師、情報教育、学芸員の4つのプログラムがあり、1年次後期に登録します。特別支援教育ChPでは特別支援学校教諭免許、公認心理師ChPでは公認心理師受験資格、情報教育ChPでは高等学校情報科の教員免許、学芸員ChPでは学芸員の資格を、それぞれ取得できます。登録可能な人数に限りがあるため、登録の際に選抜を行うことがあります。公認心理師ChPには心理・表現系の学生のみ登録可能です。



学びを
未来へと進化させよう！

学生に聞く

～ゼミを通して学んだこととは～

人間発達文化学類 3年
小林 瑞穂 さん

将来は小学校の教員となり、国語科教育に力を入れたいと考えこのゼミに入りました。ゼミでは先生や先輩の研究に触れるなかで、国語の指導法の奥深さを知り、研究することの面白さに気づきました。志を同じくする先輩や同級生と議論し、共に学びを深め合うのは、日々刺激があります。また、ゼミ出身の卒業生はもちろん、現役の教員の方とも日頃から交流があり、学校訪問など現場で学ぶ機会も多くあるため、教育現場の実状を知ることができます。理論だけでなく実践的な知識も得ることができるのがうれしいです。

国語を学ぶ楽しさは、子どもたちに伝染する

教員に聞く

～ゼミで学ぶ意義とは～

人間発達文化学類 佐藤 佐敏 教授

研究分野 国語科教育学・教育実践学・学習指導論

私の研究室では、国語科教育についての研究を行っています。学生のささやかな「なぜ？」という問いが、教育の未来を明るく照らすことがあります。学生の研究が教科書の題材になったことがあったのです。興味のある研究に没頭できるゼミは、最も大学生らしい学生生活を送れる場だと思います。私のゼミに限りませんが、学生たちには研究の奥深さや楽しさを感じてほしいと思います。教育現場では、国語を楽しいと感じるその情熱こそが、教師になった時に子どもたちの心を動かす、一番の力になると私は信じています。

1年次から系で教職の基礎や教科等の専門性を学び、
2年次からはコースに分かれて探究的な学びを実践する
効率的なカリキュラム

1年次に7つの「系」(国語、社会科、算数・数学、理科、保健体育、英語、心理・表現)に分かれて、各教科の専門的な内容と教員になるための学びを学修します。2年次からはコースに分かれ、チームごとに協力して探究プロジェクトに取り組むことで、学校現場で注目されている「探究的な学び」を実践します。少ない単位数で複数の教員免許が取得できる効率的なカリキュラムです。

※教員免許取得が卒業要件になります。詳しくはP31をご覧ください。



取得学士号

学士(教育学)

取得できる免許・資格

- 小学校教諭一種・二種免許状
- 中学校教諭一種・二種免許状
(国語・社会・数学・理科 ※1・保健体育・英語)
- 高等学校教諭一種免許状
(国語・地理歴史・公民・数学・理科 ※1・保健体育・英語・情報 ※2)
- 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者) ※3
- 公認心理師受験資格 ※4
- 学芸員 ※5
- 社会教育士
- 社会福祉主事(任用資格) ※6

※1 中学校(理科)・高等学校(理科)の免許は課程認定申請中。(ただし、文科省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。)

※2 高等学校(情報)の免許は、「情報教育チャレンジプログラム」に登録し、理工学部開講の必要科目等を履修することで取得できます。

※3 「特別支援教育チャレンジプログラム」に登録し、必要な科目を履修することで取得できます。特別支援学校での実習などが必要です。

※4 「公認心理師チャレンジプログラム(心理・表現系のみ登録可能)」に登録し、必要な科目を履修することで取得できます。公認心理師の実習先の受け入れ可能数を超える志望者がいた場合には選考することがあります。また、最終的な受験資格取得のためには、大学卒業後に大学院への進学または認定施設での実務経験が必要となります。

※5 「学芸員チャレンジプログラム」に登録し、必要な科目を履修することで取得できます。

※6 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。

		1年次		2年次		3年次		4年次	
学びの目標		■ 教育に関する基本的なことを学び、教育現場に慣れる。 ■ 自身の専門分野の基礎を学ぶ。		■ 指導法・教育法について学ぶ。専門の学びを進めると同時に、分野横断的な探究活動を行う。		■ 学校現場での実践等を通し、教育力を身につける。 ■ 卒業研究の方向性と内容を定め、研究を開始する。		■ 教員に相応しい実践力を身につける。 ■ 学びの集大成として卒業研究を完成する。	
		第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester
専門教育	コース科目	教職課程 スタートアップセミナー (基盤教育科目)		探究入門		探究プロジェクト コースプログラム (コース基礎科目・コース選択科目ほか)		・ チャレンジプログラム	
	系専門科目	教職に関する科目							
		教科に関する科目							
		心理・表現関連科目 (心理・表現系)							
	教育実習	学校体験活動Ⅰ				教育実習Ⅰ		※高等学校免許取得やチャレンジプログラム修了には追加の実習が必要	
卒業研究科目							学校体験活動Ⅱ		
							教育実習Ⅱ いずれかを選択		
						探究型 応用探究演習 探究型か専門型のいずれかを選択		実践報告書	
						専門型 卒業研究演習		卒業論文	

基盤教育	アカデミックスキルズ	スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ 社会とデータ科学の基礎
	ライフマネジメント	キャリア形成科目／健康・運動科目／キャリア設計科目
	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ／英語以外の外国語初級／英語以外の外国語発展
	教養	地域課題に取り組む／データに基づいて考える／多様な視点から考える／普遍的価値を知る

アドバイザー教員

学修や進路など大学生活全般の
アドバイスをを行います。
下記の担当教員をアドバイザーとする
小集団教育を行います。

1年次～2年次カリキュラムアドバイザー

3年次～4年次卒業研究指導教員

自由選択	基盤教育・専門教育の各科目区分ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目 (単位)
------	---

7つの系

系では各専攻科目の専門的な学びと、教員になるための学びを修めます。卒業に必要な単位数は124単位で、必要な単位を積み増すことで「小中教員一種免許」「特別支援学校教員免許※1」「高校教員一種免許※2」「公認心理師受験資格※3」が取得可能です。「国語」「社会科」「算数・数学」「理科」「保健体育」「英語」の系では小学校と中学校の2つの教員免許（Aタイプ：「小学校一種+中学校二種」またはBタイプ：「小学校二種+中学校一種」）取得が卒業要件ですが、【総合型選抜・探究枠】はBタイプ、【学校推薦型選抜】はAタイプとなり、それ以外の入学選抜による入学者については入学時に希望を申請し、希望に基づきタイプを確定します。なお、心理・表現系はタイプに分かれておらず、小学校二種免許の取得が卒業要件となります。

※1 ※2 登録の際に選考することがあります。

※3 心理・表現系のみ登録可能。公認心理師の実習先の受け入れ可能数を超える志望者がいた場合には選考することがあります。最終的な受験資格取得のためには、大学卒業後に大学院への進学または認定施設での実務経験が必要となります。



写真提供：NPO法人カタリバ



7つの系	国語	社会科	算数・数学	理科	保健体育	英語	心理・表現
1年次							
2年次	5つのコース						
	地域課題探究コース						
	グローバル探究コース						
	STEAM教育コース						
	教育臨床コース						
	インクルーシブ教育コース						

4年間を通じた学校現場等での活動

教員免許取得に必要な教育実習は、学校現場での経験を通じて学ぶ貴重な機会です。福島大学教育学部では、学生が初年次から学校現場に触れる経験を積むこと、4年間の中で学校現場での実践と大学で学ぶ理論を結びつけて学ぶこと、学生や学校現場の多様なニーズに応えることなどから、4年間を通じた複線的な実習を行っています。

具体的には、まず1年次前期の必修講義「教職課程スタートアップセミナー」で、学校現場を参観し、教師側の目線から学校を見る経験を積みます。1年次後期から2年次にかけて、「学校体験活動Ⅰ」を

通して学校現場等を体験し、授業だけではない、子どもや学校の実態に触れます。3年次で本格的な教育実習（2週間）を行います。その後卒業までの間に、学校現場をサポートしながら実務経験や実践経験を積む「学校体験活動Ⅱ」と、特に授業実践力に磨きをかける「教育実習Ⅱ」のいずれかを選択し、学生自身の課題意識に基づく学びを深めます。

これらを通して、学校現場の中で求められる実践力や協働する力を身につけるとともに、卒業後も学び続ける素地を養います。

※高等学校・特別支援学校の教員免許や公認心理師資格等の取得のためには、この他にも実習を行う必要があります

教職に関する科目

- 教育原理
- 教育行政・学校経営論
- 特別支援教育入門
- 特別活動
- ICT活用の理論と方法
- 教育の方法・課程論
- 教育相談
- 小・中・高教科指導法
- 算数・数学科指導法
- 子どもとことば
- 生活の中の数と図形

ほか



各系の主な科目

国語系専門科目

- 日本語学概論
- 日本語学演習
- 日本文学概論
- 日本文学演習
- 漢文学概論
- 漢文学演習
- 書道
- 国語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

社会科系専門科目

- 日本史概説
- 外国史概説
- 地理学概説
- 政治学概説
- 経済学概説
- 倫理学概説
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ

ほか

算数・数学系専門科目

- 代数学概論
- 幾何学概論
- 解析学概論
- 確率論・統計学
- コンピュータ
- 代数学Ⅰ
- 幾何学Ⅰ
- 基礎解析学Ⅰ
- 数学科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

理科系専門科目

- 物理学概論
- 化学概論
- 生物学概論
- 地学概論
- 物理学実験
- 化学実験
- 生物学実験
- 地学実験
- 理科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

保健体育系専門科目

- 器械運動
- 水泳
- スポーツ運動学
- 生涯スポーツ論
- 生理学
- 衛生学および公衆衛生学
- 学校保健
- 保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

英語系専門科目

- 英語学概論
- 英文法
- 英米文学概論
- 英文学史
- 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ
- 異文化理解
- 英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

心理・表現系専門科目

- 心理カウンセリング
- アートの歴史Ⅰ・Ⅱ
- 音楽活動の基礎
- 表象文化論Ⅰ・Ⅱ
- 学習心理学
- 心理学概論
- 心理学統計法
- アートとケア
- メディア論
- 音楽表現の基礎Ⅰ・Ⅱ
- 生活経営学
- 臨床心理学概論
- 心理学的支援法

ほか

チャレンジプログラム科目

特別支援教育チャレンジプログラム

- 特別支援教育概論
- 知的障害者教育概論
- 肢体不自由者教育概論
- 病弱者教育概論
- 特別支援学校演習Ⅰ・Ⅱ
- 教育実習（特別支援学校）

ほか

公認心理師チャレンジプログラム

- 感情・人格心理学
- 健康・医療心理学
- 神経・生理心理学
- 心理的アセスメント
- 心理演習
- 心理実習

ほか

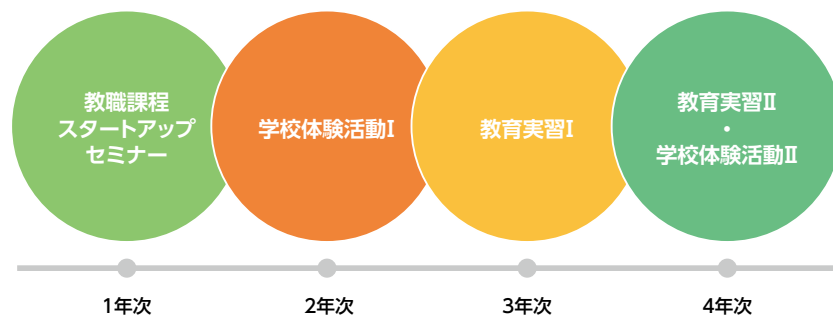
学芸員チャレンジプログラム

- 博物館教育論
- 博物館経営論
- 博物館実習

ほか

情報教育チャレンジプログラム

主に理工学部の情報の科目を履修します



5つのコース

教育学部の学生は、1年次前期に「教職課程スタートアップセミナー」を通して教育の現場を知った上で、第2セメスター科目「探究入門」において5つのテーマについて理解を深め、所属するコースを確定します。コース確定後、2年次の「探究プロジェクトⅠ・Ⅱ」から本格的な探究活動の実践に入ります。各コースには対応する教育課題について理解を深める「コース基礎科目」が用意されていて、2年次前期に受講します。また、分野横断的な知識・技能を深める「コース選択科目」は、5つのコースと緩く紐づいており、自身の興味に応じて選択できます。対応コースの学生には受講が推奨されますが、対応しないコースの学生も受講可能です。

コース選択科目 (対応コース)

- 言語と国際協働 (地域課題探究・グローバル探究)
- コミュニティ形成論 (地域課題探究・グローバル探究)
- 科学とその活用 (STEAM教育)
- 地域・スポーツ芸術 (地域課題探究・グローバル探究・STEAM教育)
- 多様性と包摂性 (グローバル探究・STEAM教育・インクルーシブ教育)
- 多様な子どものケース検討会1・2 (教育臨床・インクルーシブ教育)

地域課題探究コース

地域課題を掘り起こし、 教育を通して解決を試みる

地域に入り、地域のさまざまな人々に触れて、広い視点から地域の良さを見だし、創造的な課題探究を行います。目指す教員像は、地域の人々と協働して地域や社会に開かれた創造的な学びを実現し、持続可能な社会の創り手を育成できる教員です。



コース基礎科目 | 地域課題探究基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

神山 真由 (教育行政学、教育制度論)
小松 賢司 (日本近世村落史、地域社会史)
澁澤 尚 (漢文学、漢字文化、古代文学・思想・神話、本草学)
中村 洋介 (自然災害科学・防災教育)
蓮沼 哲哉 (スポーツ社会学)
初澤 敏生 (地域文化構造の調査と分析)
原野 明子 (幼児心理・保育)
半沢 康 (日本の方言の研究)
水澤 玲子 (島嶼生態学、植物の繁殖生態学)
安田 俊広 (運動生理学)

教育臨床コース

学校現場での活動を通して 教師としての資質能力を身につける

さまざまな教育場で多様な子どもと実際に関わり省察する活動や、教員の仕事のサポートを通して学校現場への理解を深めます。目指す教員像は、子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出し、主体的な学びに伴走者として寄り添うことができる教員です。



コース基礎科目 | 教育臨床基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

伊藤 雅隆 (認知行動療法の効果と実践方法)
小川 宏 (体育・スポーツの意義と目的)
岸 竜馬 (臨床心理学、アタッチメント)
坂本 篤史 (授業研究、教師論)
高木 修一 (英語リーディングのメカニズムを探る・英語テストを科学する)
谷 雅泰 (日本教育史、近代学校の起源)
平中 宏典 (ICTを活用した理科教育、地域地質を活かした地学教育)
松本 健太 (体育科教育学、スポーツ教育学)
宗形 潤子 (生活科・総合における実践的研究)
和田 正樹 (解析学、確率論)

グローバル探究コース

国際的な視点で 日本や諸外国の文化や生活を考える

国内外での研修・交流を核にした活動の他、地域の歴史・言語・文化を深く理解し、地域や海外へ発信します。目指す教員像は、グローバルな視野を持ち、異文化理解・多文化共生力を育むための環境を作り、それらの力を育成できる教員です。



コース基礎科目 | グローバル探究基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

朝賀 俊彦 (言語の仕組みについての研究)
井貫 充史 (日本古典文学、比較文学)
今尾 滋 (音楽・オペラ)
植田 啓嗣 (教育学、比較教育学)
鍵和田 賢 (ドイツ近世史、ヨーロッパ宗教社会史)
加藤 奈保子 (西洋美術史・美学)
川田 潤 (主に英語圏の文化の研究)
高田 英和 (イギリス文学、文化研究)
高橋 由貴 (日本近代文学・比較文学)

STEAM教育コース

数学や理科、技術、アートをつないで 課題を解決する

科学技術やアート思考、デザイン思考を取り入れたSTEAM教育の理解を深め発信します。目指す教員像は、子どもたちの挑戦的な探究や学習活動を支援し、創造性も含めた多様な能力を育むことができる教員です。



コース基礎科目 | STEAM教育の基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

角間 陽子 (家庭科教育の研究、生活経営学)
唐島田 龍之介 (分析化学、錯体化学)
工藤 日南子 (教育工学、情報科教育)
佐藤 元樹 (理論言語学、統語論、意味論)
柴田 崇広 (代数幾何学)
杉浦 弘一 (運動と健康、スポーツ医科学)
中田 文憲 (微分幾何学、STEAM教育)
中村 恵子 (調理のコツとおいしさについて)
本嶋 良恵 (スポーツバイオメカニクス)
渡邊 晃一 (現代美術、メディア・アート、美術解剖学)

インクルーシブ教育コース

子どもたちが 共に学ぶ環境をつくる

障害や異文化、心理的特性などを含めた多様性への理解、包摂的社會を実現するための教育のあり方への理解を深めます。目指す教員像は、多様な子どもたちの背景を省察し、多様性の中から生まれる価値を子どもたちと共有できる教員です。



コース基礎科目 | インクルーシブ教育の基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

小野原 雅夫 (近現代西洋哲学・倫理学、政治哲学、平和論)
佐藤 佐敏 (国語科教育学、学習指導論)
杉田 政夫 (音楽教育哲学、コミュニティ音楽療法の理論)
住吉 チカ (認知心理学、認知機能障害及び認知機能の発達)
高橋 純一 (能力の多様性、社会や学校における多様性の理解促進)
高谷 理恵子 (発達に影響を及ぼす諸要因の検討)
簡井 雄二 (実験心理学、災害心理学、神経科学)
森本 明 (算数・数学の授業とカリキュラムの構成に関する研究)
和田 恵 (障害児の社会的認知について)

Notable Research

とことん遊ばせることで
子どもの成長を引き出す



人間発達文化学類 高谷 理恵子 教授

研究分野 発達心理学

発達心理学は、人が生まれてから死ぬまでどのように心身が変化していくかというプロセスを明らかにしていく学問です。私はその中でも乳幼児を研究しています。まだ言葉を話せない乳児でも、実はいろいろなことを考えて行動していることをご存知でしょうか。

データから分析する研究を始め、近年では乳児の動きを観察することで発達障害の有無や経過が、ある程度予測できるようになりました。その後、私が子どもを授かったことで、分析だけでなく支援できないか考えるようになり、現在は幼児期の子どもの発達支援の研究に携わっています。中心となるのは障害の有無にかかわらず、自発的に周囲と関わるのが難しい子どもに対して、遊びの環境をどう整え支援したらよいか、また保護者がどんなあり方でその子と関わったらよいかということ。不器用と思われる子も、それまで経験した遊びをベースに少しずつ新しい遊びを付け足すと、経験を積み上げ成長することができます。親は子どもの成長を支えるために、その子の好きな遊びにとことん付き合ったり、そばで見守ったりすることが大事です。今後も実践的な遊びの研究を続け、一人で悩みを抱え込みがちな現代の子育ての手助けをしていきたいです。



自然の中での遊びは多様な感覚刺激が得られ、子どもの環境適応能力を高めるといわれます



観察するだけでなく簡単なおもちゃを使った実験なども行い、乳幼児の発達を検証します



人間発達文化学類生の 1週間 & 4年間 の学びをのぞいてみよう!

専門科目は
もちろん、
教員になるため
参考になる授業を
選びました



人間発達文化学類 1年
飯塚 咲希 さん

夢中になっていること
アイドルの推し活

所属サークル
コピーダンスサークル

将来の夢
高校(社会科)の教員

	月	火	水	木	金
1	精神疾患とその治療	知的障害者の心理・生理・病理	心理的特性を理解し、適切な支援法を学びます	歴史学Ⅱ	英語AⅡ
2	英語AⅠ	日本文学概論	キャリア形成論	日本史・世界史について、3人の先生が交代で専門分野を教えてください	ふくしま未来学入門Ⅰ
3	健康運動科学実習	中国語基礎Ⅰ	プレゼンやグループワークなど、大学で学ぶスキルを身につけます	スタートアップセミナー	英文学史
4	実習でゴルフをしました			教師や警察官など復興の現場で活躍する方を招き、震災当時の体験を伺います	社会学概説
5					社会や文化が抱える問題を掘り下げて考える授業です

Comment

1年次は専門分野だけでなく、幅広い分野を学べる期間なので、積極的にいろいろなジャンルの授業を受けています。普段の生活では気づけなかった学びや視点が得られるため、見識が広がっているのを感じます。

サークル活動

私はコピーダンスサークルに入っています。K-POPを中心にダンスを練習して、学祭やサークルのオリエンテーションなどで発表しています。発表間際は忙しいときもありますが、普段は週2回で無理なく活動をしているので勉強とも両立できます。学部や学年を問わず仲が良く楽しく活動しています。



教育実習では
子どもたちへの
理解が
深まりました



人間発達文化学類 3年
見留 遥菜 さん

夢中になっていること
人間形成や教育関係の本を読む

所属サークル
なし

将来の夢
教育の道に進み、よりよい教育とは何かを考えたい

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
幅広い分野の講義で自分の視野を広げる	模擬授業などで専門的な学びを深める	学校で“現場の教育”を学ぶ教育実習が開始	教員採用試験と卒業研究に打ち込む1年に	教育者として子どもたちとともに成長したい
さまざまな学びを深めながら、小中学生との交流事業(自然体験学校)を実施するプロジェクトなどを通じて、自分で考えて行動することの大切さを実感しました。また、医療に関する講義なども選択して視野を広げました。	2年次は子どもたちへの指導方法を学んだり、模擬授業を行ったりと専門的な講義が多くなります。教えるには自分が正しく理解している必要があるため、学習指導要領などを活用しながら、改めて各教科の勉強をします。	春から秋ごろにかけて、いよいよ教育実習がはじまります。緊張しましたが、それ以上に「実際に教育現場で学べる」というモチベーションがあったので、忙しいけれど楽しい実習になりました。ゼミには10月に入ります。	1年をかけて教員採用試験と卒業研究という大きな課題に取り組みます。大学の試験対策セミナーに参加するなど、夏の1次試験と2次試験に向けて準備を進めます。9月頃から本格的に卒業研究に取り組みます。	「子どもたちが自分らしく成長できる環境」の実現を目指して、教育者の道に進みたいと考えています。そのためには、まずは教員採用試験に合格して現場で経験を積み、子どもたちと一緒に成長できる先生になりたいです。

Comment

私は大学での学びと合わせて、インターンシップやボランティアなど、学外での活動で多くの知見を得られました。中でも、県内のいろいろな市や別の県の実験現場に触れたことは、自分の視点を広げたり、学びを深めたりすることにつながっています。

Best memory

1年次の実習で仲良くなった他コースの友達と北海道旅行を企画して、函館を巡ったことが一番の思い出です。五稜郭など日本の歴史に触れられるスポットが多く、心を動かされる体験ができました。次は海外に行きたいです。



※所属・学年は取材当時のものです

地域で活躍する先輩たち

福大発 ▶ 社会人



猪苗代町立猪苗代中学校
目黒 彩奈 さん(人間発達文化学類 2023年卒業)

大学での実践的な学びが教育の現場で役立っています

私は現在、猪苗代中学校で保健体育の教員として働いています。教員を目指したのは、高校時代に部活動の顧問の先生から、ものごとの考え方や人として大切なことを教えてもらい、感銘を受けたのがきっかけです。

福島大学では、在学中から現場で子どもたちと直接関わる機会がたくさんあり、ゼミでは子ども向けのスポーツイベントを友人と企画・運営しました。こうした実践的な学びや経験は、授業づくりだけでなく、学校行事などの運営にも活かされています。また、早い段階で教育実習を行えるカリキュラムも魅力で、実習先の中学校では生徒たちが短期間でメキメキと成長していく姿に心を動かされ、中学校の先生になりたい気持ちが強くなりました。

教員になって今年で4年目ですが、大学で培った学びや教育への熱意を忘れずに、子どもたちに少しでも気づきや学びを与えられる先生になれるよう、これからも頑張ります。



※所属は取材当時のものです

夢を芽吹かせた先輩に
聞いてみよう!



大学の学びで一番よかったところは？

教授や友だちをはじめ、さまざまな人から学びや刺激を得られたところです。福島大学は現役の先生方とのつながりが深く、模擬授業を見てアドバイスをもらえる機会がありました。そこで授業のつくり方や子どもとの関わり方など、実践的な学びを深められたことは、教員になった今、現場で役立っています。

夢を叶えるためにがんばったことは？

教員採用試験に合格するための勉強をとにかく頑張りました。福島大学には授業の他に教員採用セミナーがあり、教員採用試験の面接指導などを受けることができます。そのおかげもあり、教員になることができました。福島県で教員になりたかったので、福島大学を選んで良かったです。

後輩へのメッセージをお願いします。

教員を目指す人は、高校や大学に在籍中に授業だけでなく、学校の外でもいろいろな経験を積んでください。学生でしかできないこともたくさんあります。知らない場所に行き、見たり、聞いたりして感性を磨いてください。その経験が子どもたちに思いを伝えるための豊かな財産になります。

卒業後の主な進路

- 小学校教員
- 中学校教員
- 高等学校教員 など
- 特別支援学校教員
- 大学院進学